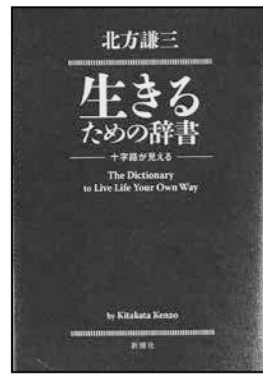


NEW! 新しく入った本



生きるための辞書
十字路が見える
北方謙三/著
歳月を経た今だからこそわかる、家族の情、友の痛み、旅の意味。寿司屋の愉しみ方から孫の育て方、友との別れ方まで、ユーモアと教養、男気に満ちた北方謙三の至言が満載。



ぼくは本を読んでいる。
ひこ・田中/著
どうしてだかぼくは、それを親に隠れてこっそり読みたくなった。本好きじゃなくても読書はできる!「別に本が好きでもない」男子・ルカがひたすら読書する、ありそうでなかった物語。



サピエンス全史 上・下巻
ユヴァル・ノア・ハラリ/著
アフリカでほそぼそと暮らしていたホモ・サピエンスが、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどること、我々はどうのような存在なのかを明らかにする。



さくらがさくと
とうごうなりさ/さく
駅に向かう人々が足早に通りぎる川沿いの並木道。しかし、今日の朝はいつもとちよっとちがう美しく咲いた桜並木を見上げ、人々は思わず足を止め…。自然と人間が緑り広げささやかな光景を描く。

文芸書

| | |
|-----------------|-------|
| わかれ縁 | 西條奈加 |
| 楡の墓 | 浮穴みみ |
| 〈銀の鯉亭〉の御挨拶 | 小路幸也 |
| 暗黒残酷監獄 | 城戸喜由 |
| 東京、はじまる | 門井慶喜 |
| うちの父が運転をやめません | 垣谷美雨 |
| 帝都地下迷宮 | 中山七里 |
| 茶聖 Sen no Rikyu | 伊東 潤 |
| あたしの拳が吼えるんだ | 山本幸久 |
| 絶対聖域 | 新堂冬樹 |
| たおやかに輪をえがいて | 窪 美澄 |
| ブルーブラッド | 藤田宜永 |
| 店長がバカすぎて | 早見和真 |
| 去年の雪 | 江國香織 |
| 今日も町の隅で | 小野寺史宜 |
| 三年長屋 | 梶よう子 |
| 流浪の大地 | 本城雅人 |
| 丸の内魔法少女ミラクリーナ | 村田沙耶香 |
| 海の十字架 | 安部龍太郎 |
| 綴る女 評伝・宮尾登美子 | 林真理子 |

一般書

| | |
|--------------------|---------------------|
| ぬかびら開湯百年 | ぬかびら源泉郷百周年記念事業実行委員会 |
| 2019十勝子ども白書 | 十勝まちづくり研究会 |
| 老いのトリセツ | 石川恭三 |
| そろそろ親とお金の話をしてください | 安田まゆみ |
| 1年生になったら紙の辞書を与えなさい | 深谷圭助 |
| 遠野奇談 | 佐々木喜善 |
| 時間は存在しない | カルロ・ロヴェッリ |

| | |
|---------------------|---------------|
| 私たちが食べる動物の命と心 | バーバラ・J. キング |
| からだ性の教科書 | エレン・ストッケン・ダール |
| 最強の「足裏もみ」と「かかと回し」 | 福辻鋭記 |
| 野菜はくすり | 村田裕子 |
| 日本一赤ちゃんが生まれる病院 | 亀山早苗 |
| クルマの本箱 -絵本からミニカーまで- | 内野安彦 |
| 早川ユミのちくちく服づくり | 早川ユミ |
| 子どもも喜ぶ10分汁ごはん | 伏木暢顕 |
| チョコレートのお菓子 | 宮原美樹 |
| 本気の草野球 | 若松健太 |
| 勝ちスイッチ | 井上尚弥 |

児童書

| | |
|-----------|--------|
| しごとば やっぱり | 鈴木のりたけ |
|-----------|--------|

児童よみもの

| | |
|-----------------|--------|
| フラワーショップの亡霊 | 斉藤 洋 |
| 魔女ラグになれた夏 | 蓼内明子 |
| ラストで君は「まさか!」と言う | PHP研究所 |
| 朔と新 | いとうみく |
| 窓 | 小手毬るい |
| しらゆきちりか ちっちゃいな | 薫 くみこ |

絵本

| | |
|--------------------|------------|
| きみののぞみはなんですか? | 五味太郎 |
| パパトラ | きむらゆういち |
| はじまるよはじまるよ 0・1・2さい | とよたかずひこ |
| アニマルバスとパンやさん | こてらしほ |
| フランクリンとルナ、本のなかへ | ケイティ・ハーネット |
| おろしてください(怪談えほん) | 有栖川有栖/作 |
| 絵本まるコジ 2(※1もあります) | さくらももこ |

としよかんクイズ王

4月23日「子ども読書の日」関連事業

開催期間
4月18日(土)から
26日(日)まで

- ◆開催場所 図書館
- ◆主な対象 小学生
- ・4種類のクイズを用意します(初級・中級・上級・超級)。
- ・図書館の本を使って、クイズに挑戦してください。
- ・全問正解者には、「クイズ王認定証」を授与します。



町民文芸誌

火群 45号



町民文芸誌火群編集委員会(白石馨委員長)では、火群第45号を発刊しました。今号も多彩なジャンルにわたり、38の力作が寄せられました。中でも、昨年放映の連続テレビ小説「なつぞら」にちなみ、ヒロインの友人のモデルとなった神田日勝(拓北農兵隊として鹿追に入植)と同様に、自身もまた東京都杉並区から一団で入植した当時を振り返った石川裕子さん(10区在住)の随筆は、今号を印象づける作品です。巻頭グラビアでは、この3月末をもって78年の歴史を閉じる、糠平小学校を特集しています。図書館では、貸出用と販売用を準備します。是非ご一読下さい。

一日司書認定! ~としよかん体験の日、終わる~



小学4年生以上を対象に毎年開催している「としよかん体験の日」を2月22日に開催しました。今回は、長良優希君、小嶋京之朗君、新村柊都君の3名(いずれも上小4年生)が参加しました。新着本の登録やカウンター業務などの体験のほか、新たに加えた知的書評合戦「ビブリオバトル」にも挑戦してもらいました。3人は緊張しながらも、自分のお気に入りの本について、一生懸命発表していました。

おはなしの世界へようこそ

★お話し会

- ◆日時 4月11日(日) 10:30~
- ◆内容 お話し会「カッコウ」による絵本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター

★えほんのトピラ

- ◆日時 4月18日(日) 14:00~
- ◆内容 図書館職員による読み聞かせです。



会場は図書館「お話し会」です。

おすすめの1冊

「土に贖う」
河崎 秋子著



明治後期から昭和初期に

かけて、道内では、いくつかの産業が興りました。養蚕(札幌・桑園)、ミンクの毛皮加工(根室)、ハッカ(北見)、蹄鉄(十勝)、レンガ(江別)など。

本書には、これらの産業に携わる人々の労働や暮らしを描いた7つの物語が収録されています。

幕末、明治を通じて北海道へと渡った和人たちが、原生林に自生する桑の葉を見て思いついたのが「養蚕」でした。桑園という地名がそのことを今に伝えています。以来、ここで発展した養蚕は、当時の日本の輸出製品の主力であった生糸の生産を支えました。この土地の野桑で蚕を育てて、生糸を生産する一家を描いた第1話では、生活の糧となる蚕への生産者の親愛の情が伝わってきます。

他の話も同様に、ミンクやハッカ草、レンガの元となる土といった、生き物(自然)で生計を立てる者の仕事に対する姿勢は、現代人が忘れたものを呼び覚まします。

一方で、一時は隆盛を極めた産業はいつまでも続かず、諸事情により衰退の一途を辿ります。その陰に見えてくる、人間の業というものについて、深く考えさせられます。